

龍泉寺 (岡崎市竜泉寺町字西ノ山8番地)



山号 妙雲山
宗派 日蓮宗
本尊 一塔両尊四士 合掌印、祖像（日蓮聖人座像）
開山 妙龍院日静
寺宝 仁王門破井木一片
開山日静・日朝本尊
釈迦涅槃図

龍泉寺の寺号は、龍泉寺村の村名の起こりといわれる。

三河国鳳来寺と同流の天台宗として建立され、本尊は観世音菩薩で、当時の寺院規模は戒善坊はじめ五箇院を有する七堂伽藍の大寺院であった。

1339年（暦応2・延元4年）、日蓮宗京都大本山の本圀寺第4世、妙龍院日静が来寺して、当時の住僧・戒善坊を教化し、日蓮宗に改宗。

1369年（応安2・長慶24年）日静が開山となり戒善坊は2代目住職日妙となって、以来現在の住職に至る。

1548年（天文17年）の「小豆坂合戦」と1563年（永禄6年）の三河一向一揆の戦火で七堂伽藍と五坊（戒善坊・大円坊・行楽坊・輪坊・蔵翠坊）のうち戒善坊以外をすべて焼失、残った戒善坊を大円坊跡に移した。

現在の本堂は、1713年（正徳3年）の建立で、18世紀後半頃建築の薬医門の山門がある。

【参考文献】

村史「竜谷」 岡崎市竜谷学区社会教育委員会
岡崎・史跡と文化財めぐり 岡崎の文化財編集委員会